

わがまちの環境自慢（優秀事例表彰）

受賞事例一覧

	自治体名	取組み名
キラリ大賞	山口県宇部市	子育て支援リユース事業
ひかり賞	東京都足立区	全国初！ 木製粗大ごみの資源化
アイデア賞	山口県宇部市	子育て支援リユース事業
のぞみ賞	茨城県東海村	第3次とうかいエコオフィスプラン
のぞみ賞	奈良県生駒市	カワバタモロコ保護活動

キラリ大賞受賞自治体スピーチ

宇部市市民環境部 部長 石部隆

会議が盛大に開催され、このような受賞の機会を与えていただいたことを、生駒市の皆様にお礼申し上げたい。今日の受賞は審査委員の先生方、会議の参加者のみなさんのおかげだと聞いている。どうもありがとうございました。

先ほど会の冒頭で子どもたちの演技・演奏を拝見した。始まる前に先生に厳しく指導され、子どもたちの顔は真剣そのものだった。大きなプレッシャーがかかり、終わった時のほっとする子供たちの笑顔を見ると、この場で宇部市の子どもたちを育てる事業を紹介できたことが誉れだと感じた。市長も申し上げていたが、今回紹介した宇部市の取り組みはどこの自治体でもできることである。いこま会議では3日間を通じ多くの提案、事例を教示いただいた。これらの事例をキラリ大賞にのせてしっかり宇部に持ち帰り、できるところから少しずつ実践していきたい。



(受賞の様子)

総評

わがまちの環境自慢選定委員会 委員長
田中充

キラリ大賞を取った宇部市の取り組み「笑顔が広がる心を繋ぐ 子育て支援リユース事業」は久保田市長のわかりやすいプレゼンで、どこの自治体でも行うことが可能な子供服のリユースを市民の力を使いながら行う、地域をつなぐということが評価された。家具のリサイクルに取り組む足立区の取り組み、再生可能エネルギーを地域に広げていく東海村の取り組み、カワバタモロコの生駒市、それぞれの事例は秀逸だった。また今回受賞からは漏れたが、多治見市のエコカレッジ、三島市のガーデンシティ構想も大変いい事例だった。厳正な審査の結果、参加者の投票の結果このような結果になった。

いずれも参考にすべき点、学ぶところがたくさんあったことをお伝えしたい。

最後に会議全体を通じて3つのことを申し上げたい。1つ目に、今回わがまちの環境自慢には6つの事例応募があった。環境自治体会議では、自治体がひとつの柱となって地域での環境政策を進めていく、そして自治体同士が切磋琢磨していく機会である。そのため次年度応募事例が増えることを期待する。2つ目に投票という形式は初めて行ったが成功だったと感じている。投票するために参加者の方には発表を真剣に聞いてもらった。発表する側も緊張感を持ち、政策を伝え、アピールすることにとっても努力されたように思う。投票形式は有意義だった。最後に3日間の中で、分科会でもっと自治体の発表があってもいいかと思った。来年は是非多くの自治体が「この分科会で自分たちの事例を発表したい」という申し出をしてほしい。そうすることで自治体、市民団体、企業などがその分野で相互に交流ができるのではないかと思った。

以上、どうもありがとうございました。